

# “熟議の場づくり” 応援出前講座

## 1 目的

地域協育ネット協議会や学校運営協議会の取組の充実に向けて、子どもたちを巡る現状や課題、協議会の役割等に関する情報やファシリテーションのノウハウ等を提供することにより、協議会における「熟議」の活性化を図る。

## 2 主催

山口県教育委員会

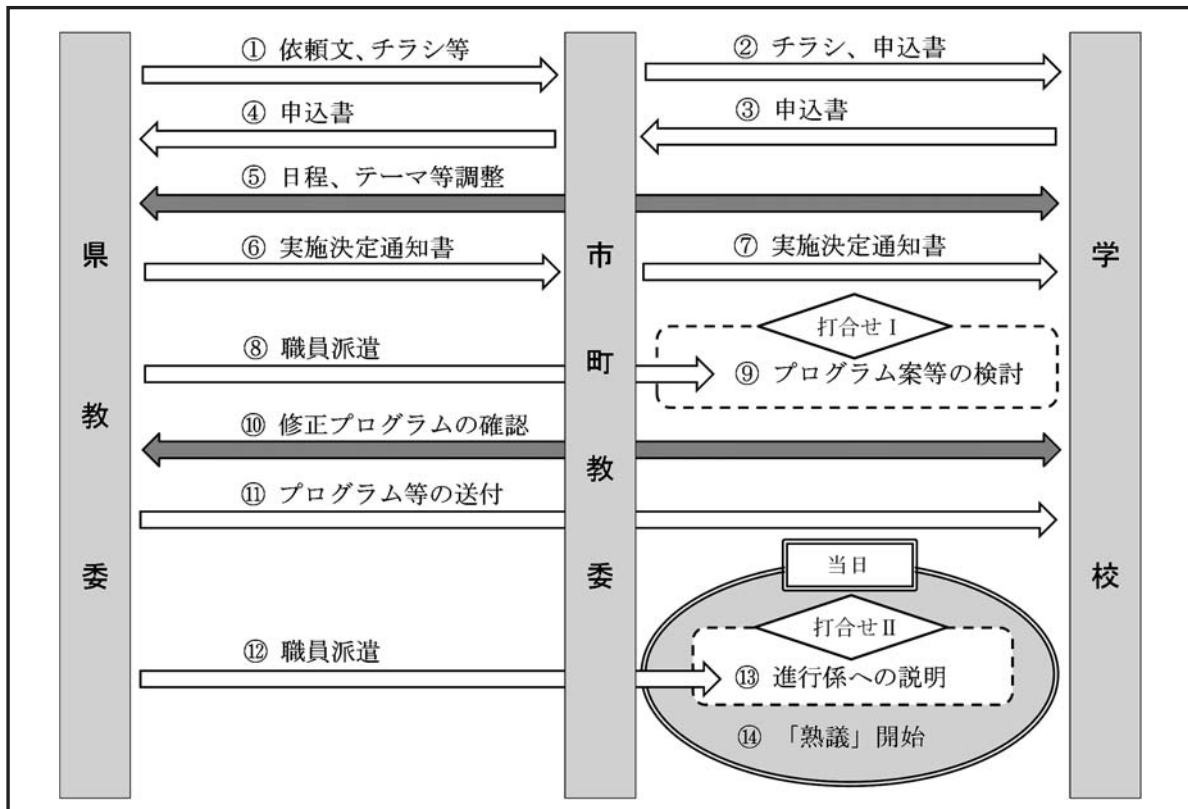
## 3 対象

地域協育ネット協議会関係者、学校運営協議会関係者等

## 4 事業概要

- ・地域協育ネット協議会、学校運営協議会等にファシリテーター等（山口県教育庁社会教育・文化財課職員）を派遣
- ・現状認識にかかわる情報提供、グループワーク等
- ・開催時間は90分程度

## 5 “熟議の場づくり” 応援出前講座」実施までの流れ



## 6 講座の流れ

### ① 参加者へのビデオメッセージ 又は 「はつらつ山口っ子」 視聴

- コミュニティ・スクール推進員 (CS マイスター) からの応援メッセージ
- 「はつらつ山口っ子 (企画：県教委 制作著作：山口放送)」



## ② 現状認識にかかわる情報提供

- 子どもを取り巻く環境
- 「コミュニティ・スクール」、「地域協育ネット」について



## ③ グループワーク

- テーマに関して、意見を出し合い、考えを深める。



## ④ シェアリング (15分)

- 各グループの意見を全体場で共有する。
- 「熟議」を今後の動きにつなげていくことを確認する。

## 7 講座の様子とその後の動き



中学校区の関係者で「熟議」



グループワーク



シェアリング

「熟議」(8月)



「にこにこ あいさつプラン」

「熟議」で提案された  
プランの実践



「自学サポート」

「協働」(10月)

## 8 成果と課題

### (1) 成果

本講座を通して、地域協育ネット協議会や学校運営協議会で「めざす子ども像」に対する参加者の思いを共有したり、学校・家庭・地域が連携・協働した具体的な取組が提案されたりした。

参加者からは「様々な立場の人と意見を交わして大変良かった」、「一度ではなく、今後も『熟議』を続けていきたい」、「具体的に考えることができたので、実践につなげていきたい」といった意欲的・建設的な意見が多く寄せられた。

このように、本講座での「熟議」が、地域協育ネット協議会や学校運営協議会の活性化につながる一つの契機となったことは、大きな成果である。

[58 か所で実施 (今後 3 か所を予定)、対象校(中学校 45 校、小学校 105 校)、参加者数 のべ 2,118 人]  
(H27.2.13 現在)

### (2) 課題

「熟議」の成果を生かし、その後、「協働」に向けた具体的な動きが見え始めた学校等が少ないことから、『熟議』から『協働』へというプロセスに対する学校等のスピード感を高めていくことが、今後の課題である。